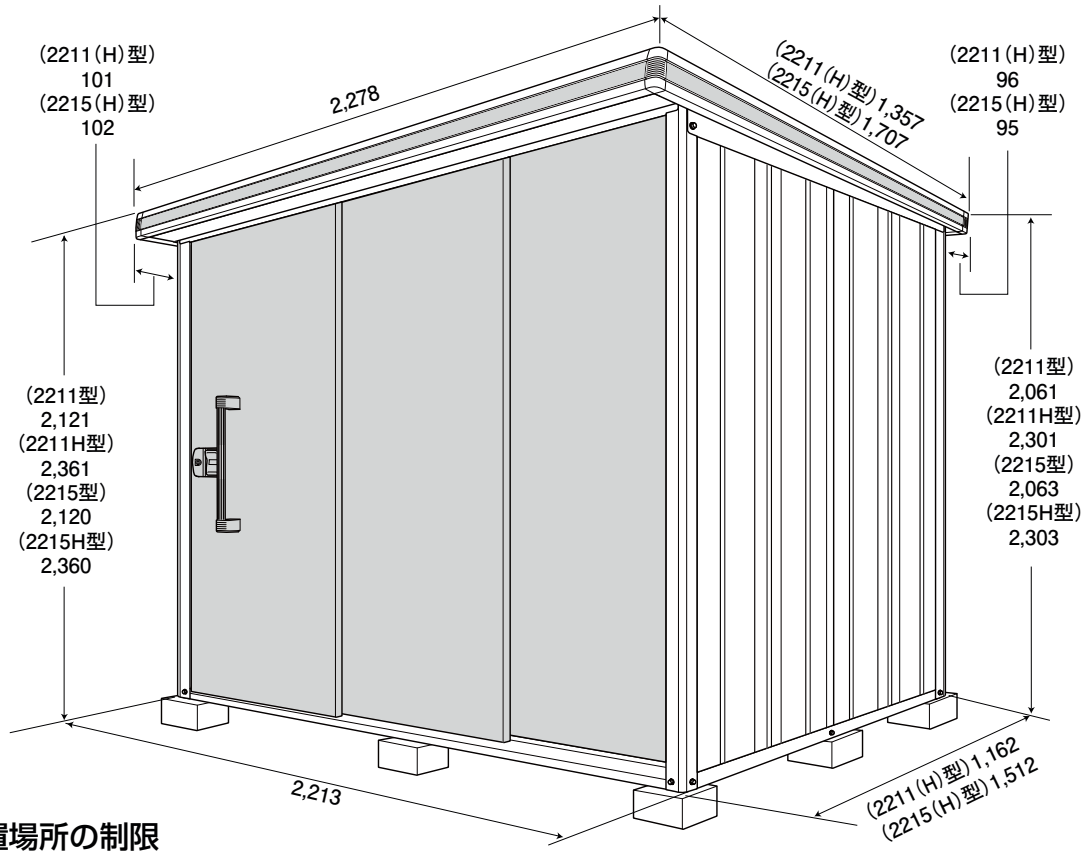
ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-2211型・2211H型・2215型・2215H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「2215」の組立手順を基本に説明しています。



●設置場所の制限

⚠注意

●建物の屋上には設置しないでください。
●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
●崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
●給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

⚠注意

●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機　種		2211 型	2215 型	2211H 型	2215H 型
部　品		LM5-0142	LM5-0142	LM5-0142	LM5-0142
枠	上枠前後	LM5-0205	LM5-0205	LM5-0205	LM5-0205
	下枠前後	LM5-0255	LM5-0255	LM5-0255	LM5-0255
	上枠左右	LM5-0302	LM5-0303	LM5-0302	LM5-0303
	下枠左右	LM5-0352	LM5-0353	LM5-0352	LM5-0353
柱		LM5-0411	LM5-0411	LM5-0412	LM5-0412
間柱		LM5-1467	LM5-1468	LM5-1471	LM5-1472
鼻隠し		LM5-1105	LM5-1105	LM5-1105	LM5-1105
補強	一般型	LM5-0531	LM5-0531	LM5-0531	LM5-0531
	積雪型	LM5-3531	LM5-3531	LM5-3531	LM5-3531
床		LM5-0708	LM5-0715	LM5-0708	LM5-0715
屋根		LM5-0913	LM5-0924	LM5-0913	LM5-0924
壁		LM5-1001	LM5-1003	LM5-1011	LM5-1013
		LM5-1004	LM5-1004	LM5-1014	LM5-1014
		LM5-1022		LM5-1032	
袖壁		LM5-1055	LM5-1055	LM5-1065	LM5-1065
扉		LM5-1705	LM5-1705	LM5-1715	LM5-1715
棚板		LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903
合計	一般型	17	16	17	16
	積雪型	17	16	17	16

●梱包内容表

●部品

LM5-0142 2211(H)・2215(H)

部材名	数量
ELD 間柱固定金具	2
ボルト（スプリングワッシャー付）M6×15	5（1）
ELD 柱補強金具（AS）	1
ELD 下レールキャップ	1
T 型レンチ	1
ELD アンカープレート（L）	4
ELD 屋根隙間隠し A	2
ELD 屋根隙間隠し B	1
EL 鍵乳フサギ	1
ボルト M 6× 15（白）	153（5）
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書 5 年	1

※（　）内は予備

●上枠前後

LM5-0205 2211(H)・2215(H)

部材名	数量
ELD 上枠前 AS-A3.0	1
ELD 上枠後 A3.0	1

●下枠前後梱包

LM5-0255 2211(H)・2215(H)

部材名	数量
ELD 下枠前 AS-A3.0	1
ELD 下枠後 A3.0	1
ELD 床押え A3.0	2

●上枠左右

LM 5-0302 2211(H)

部材名	数量
ELD 上枠左 A1.5	1
ELD 上枠右 A1.5	1

LM 5-0303 2215(H)

部材名	数量
ELD 上枠左 A2.0	1
ELD 上枠右 A2.0	1

●下枠左右梱包

LM 5-0352 2211(H)

部材名	数量
ELD 下枠側 A1.5（左）	1
ELD 下枠側 A1.5（右）	1

LM 5-0353 2215(H)

部材名	数量
ELD 下枠側 A2.0（左）	1
ELD 下枠側 A2.0（右）	1

●柱

LM 5-0411 2211・2215

部材名	数量
ELD 柱前 AS- 右 L	1
ELD 柱前 AS- 左 L	1
ELD 柱後 L	2
ELD 戸当り（M）L	1

LM 5-0412 2211H・2215H

部材名	数量
ELD 柱前 AS- 右 H	1
ELD 柱前 AS- 左 H	1
ELD 柱後 H	2
ELD 戸当り（M）H	1

●補強

LM 5-0531 2211(H)・2215(H)

部材名	数量
ELD もや A-A3.0 DLN	1
ELD 床補強 A3.0	1

LM 5-3531 2211(H)・2215(H)

部材名	数量
ELD もや C-A30S DLS	1
ELD 床補強 A3.0	1

●床

LM 5-0708 2211(H)

部材名	数量
ELD 床板 A1.5	6

LM 5-0715 2215(H)

部材名	数量
ELD 床板 A2.0	6

●屋根

LM 5-0913 2211(H)

部材名	数量
ELD 屋根（70）A1.5	3

LM 5-0924 2215(H)

部材名	数量
ELD 屋根（70）A2.0	3

●壁

LM 5-1001 2211

部材名	数量
ELD 壁パネル L-A	1

LM 5-1003 2215

部材名	数量
ELD 壁パネル L-A	3

LM 5-1004 2211・2215

部材名	数量
ELD 壁パネル L-A	4

LM 5-1022 2211

部材名	数量
ELD 壁パネル L-F	2

LM 5-1011 2211H

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	1

LM 5-1013 2215H

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	3

LM 5-1014 2211H・2215H

部材名	数量
ELD 壁パネル H-A	4

LM 5-1032 2211H

部材名	数量
ELD 壁パネル H-F	2

●袖壁

LM 5-1055 2211・2215

部材名	数量
ELD 袖壁 L-A	1

LM 5-1065 2211H・2215H

部材名	数量
ELD 袖壁 H-A	1

●鼻隠し

LM5-1105 2211(H)・2215(H)

部材名	数量
ELD 鼻隠し前 A3.0	1
ELD 鼻隠し後 A3.0	1

●間柱

LM 5-1467 2211

部材名	数量
ELD 間柱前 L	1
ELD 間柱後 L	2
ELD 間柱側中 1.5L	2

LM 5-1468 2215

部材名	数量
ELD 間柱前 L	1
ELD 間柱後 L	2
ELD 間柱側中 2.0L	2

LM 5-1471 2211H

部材名	数量
ELD 間柱前 H	1
ELD 間柱後 H	2
ELD 間柱側中 1.5H	2

LM 5-1472 2215H

部材名	数量
ELD 間柱前 H	1
ELD 間柱後 H	2
ELD 間柱側中 2.0H	2

●扉

LM 5-1705 2211・2215

部材名	数量
ELD 扉前 L-A	1
ELD 扉後 L-A	1
ELD 扉支持材 AS-A	1
ボルト M6 × 15（白）	3
ELD 取手	1
ELD 連動車	1
ELD 戸車上昇防止プレート AS	3

LM 5-1715 2211H・2215H

部材名	数量
ELD 扉前 H-A	1
ELD 扉後 H-A	1
ELD 扉支持材 AS-A	1
ボルト M6 × 15（白）	3
ELD 取手	1
ELD 連動車	1
ELD 戸車上昇防止プレート AS	3

●棚板

LM 5-1903 2211(H)・2215(H)

部材名	数量
ELC 棚板 A2.0N	2
ELC 棚受 N 右	3
ELC 棚受 N 左	3

○部材名称にはA1.5、A2.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てしてください。
3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

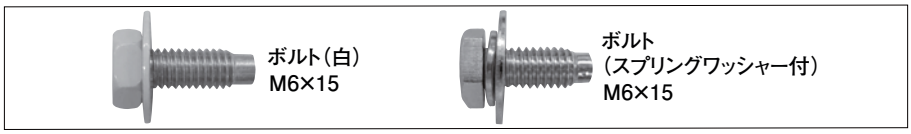
●基礎工事に必要なもの（市販品をご準備ください。）

・コンクリートブロック　9ヶ（幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。）
・コンクリート（サイズは下図の穴サイズをご参照ください。）※土の上に設置する場合に必要です。
・芯棒打ち込み式アンカー（M12×70以上）4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの

・軍手　・水準器　・脚立　・+ドライバー（右側開口にする場合のみ必要）

●使用ビス一覧



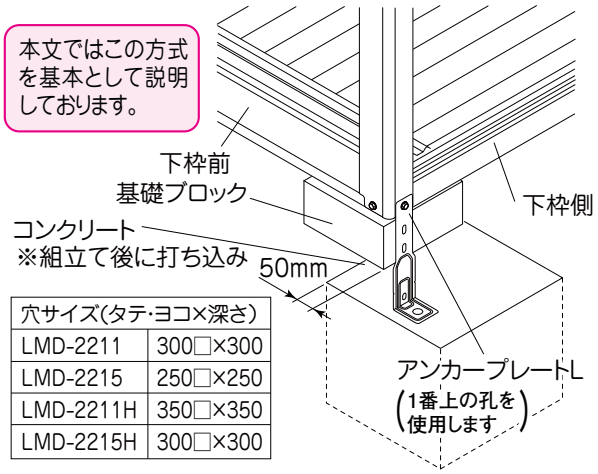
●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

注意　内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート（L）を使って内アンカーの工事はしないでください。

《土の上に設置する場合》

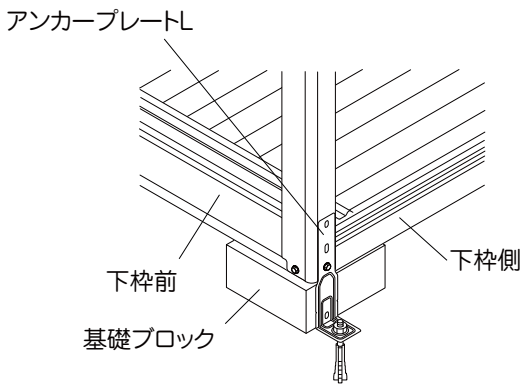
4隅に穴を掘り（下図参照）、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート（L）を固定します。



穴サイズ（タテ・ヨコ×深さ）	
LMD-2211	300□×300
LMD-2215	250□×250
LMD-2211H	350□×350
LMD-2215H	300□×300

《コンクリート床の上に設置する場合》

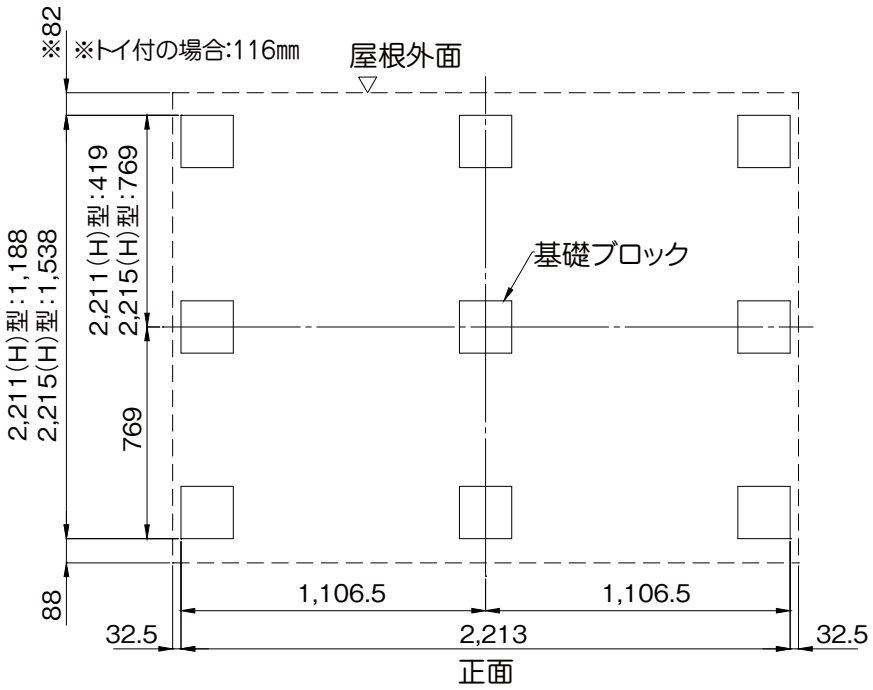
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。



⚠注意　強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

①設置場所の地ならし、地固めを行います。
②水準器を使って水平になるように基礎ブロックを図の寸法に並べます。（数字の単位は㎜）



注意

基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・鍵が掛からない。

注意

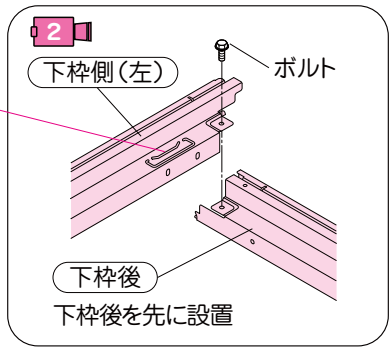
内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。
内アンカーセット（オプション）の組立説明書を先にお読みください。

2 下枠の組立

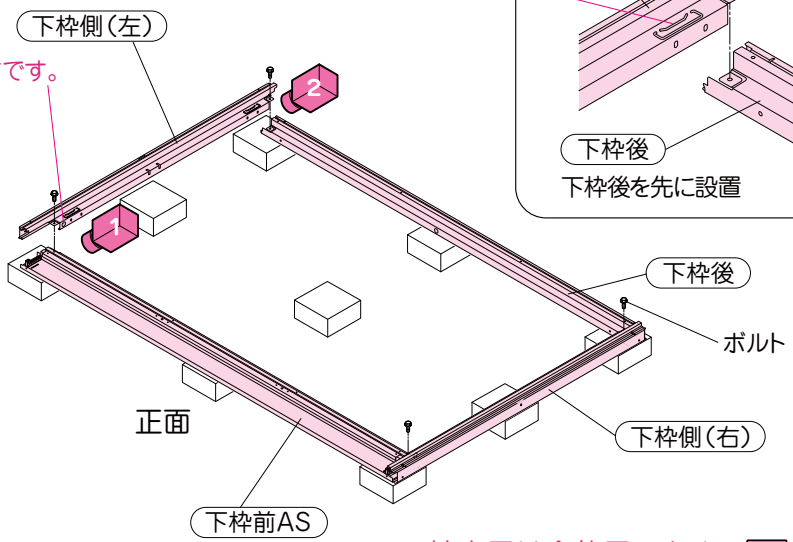
使用梱包	共通	LM5-0255
	奥行き11	LM5-0352
	奥行き15	LM5-0353
使用ボルト	4本	

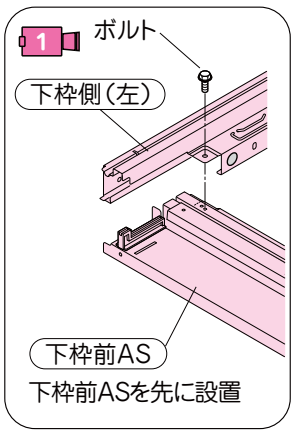
①（下枠前AS）・（下枠後）を基礎ブロックの上に設置します。
②（下枠側）を（下枠前AS）・（下枠後）の上から設置して4隅をボルト止めします。

※このスリット孔は内アンカー（オプション）にする際に使います。



※部材名ラベルが貼ってある方が前です。



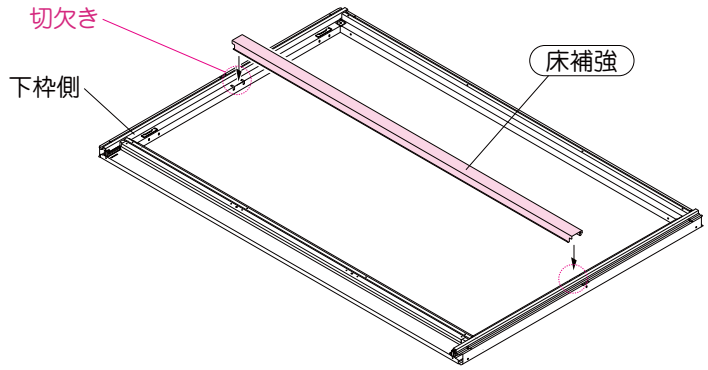


拡大図は全体図のカメラ の視点から見た図になっています。

3 床の組立

使用梱包	共通	LM5-0531 (LM5-3531)
	奥行き11	LM5-0708
	奥行き15	LM5-0715
使用ボルト	0本	

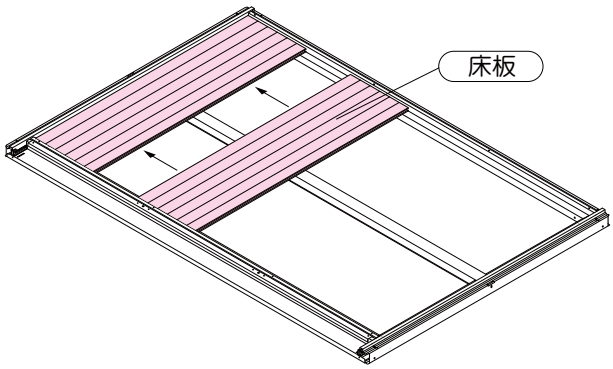
①床補強を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。



注意

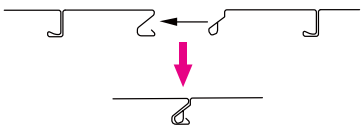
内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
※工事方法は内アンカーセット(オプション)の説明書をご参照ください。

②床板を左端、もしくは右端（どちらからでも構いません。）から順番に並べていきます。



注意

床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

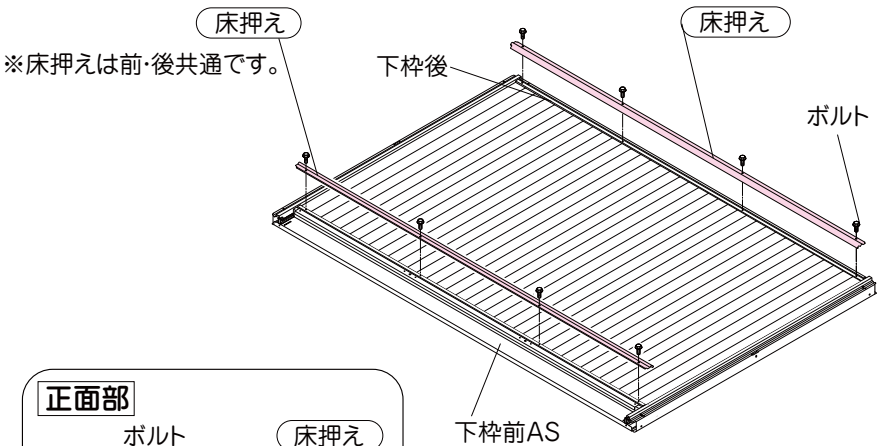


横に並べてそのままスライドさせてはめ込みます。

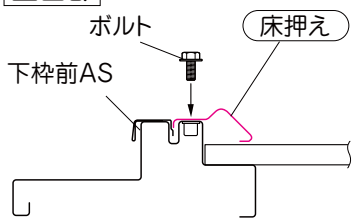
4 床押えの組立

使用梱包	共通	LM5-0255
使用ボルト	8本	

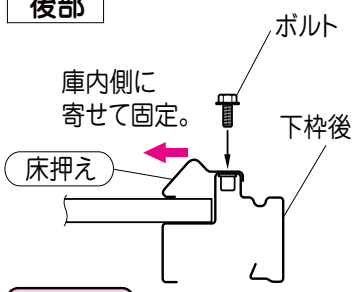
①床押えを下枠前AS・下枠後に取付けます。



正面部



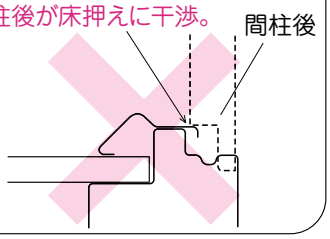
後部



注意

後部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取り付けると間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。

間柱後が床押えに干渉。

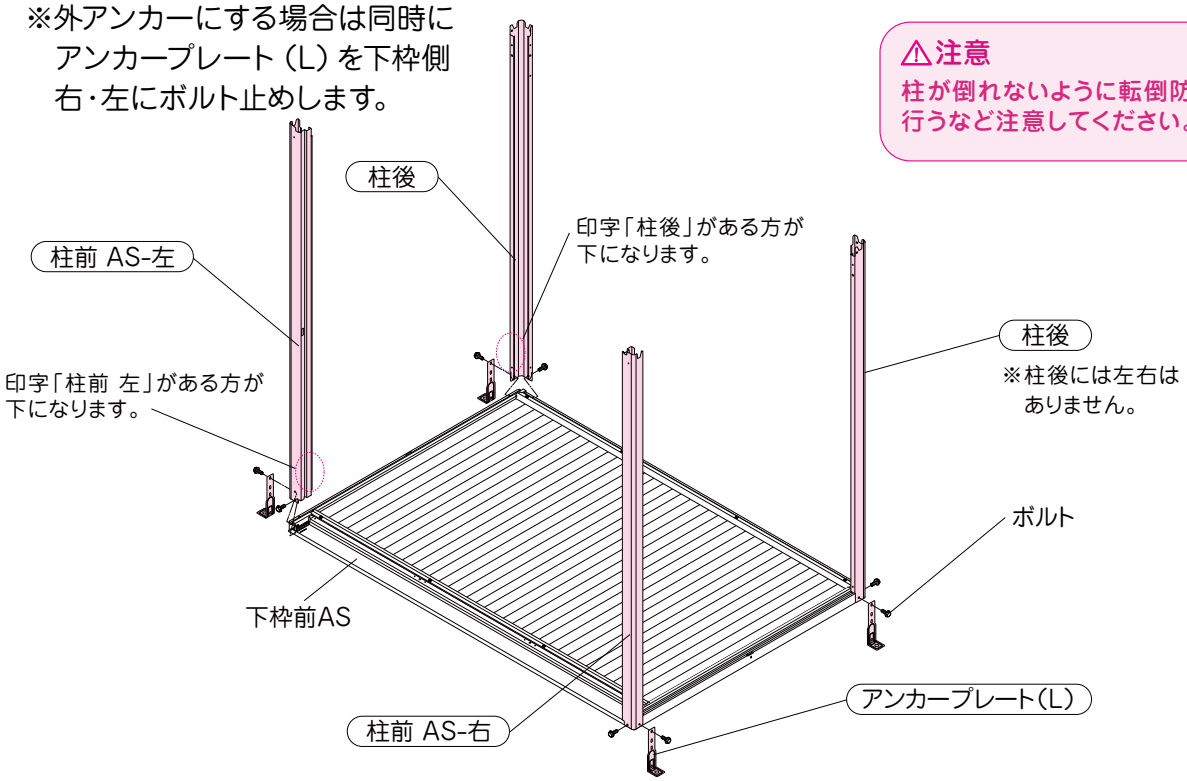


5 柱の組立

使用梱包	共通	LM5-0142
	Lタイプ	LM5-0411
	Hタイプ	LM5-0412
使用ボルト	8本	

①柱前AS・柱後を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート（L）を下枠側右・左にボルト止めします。

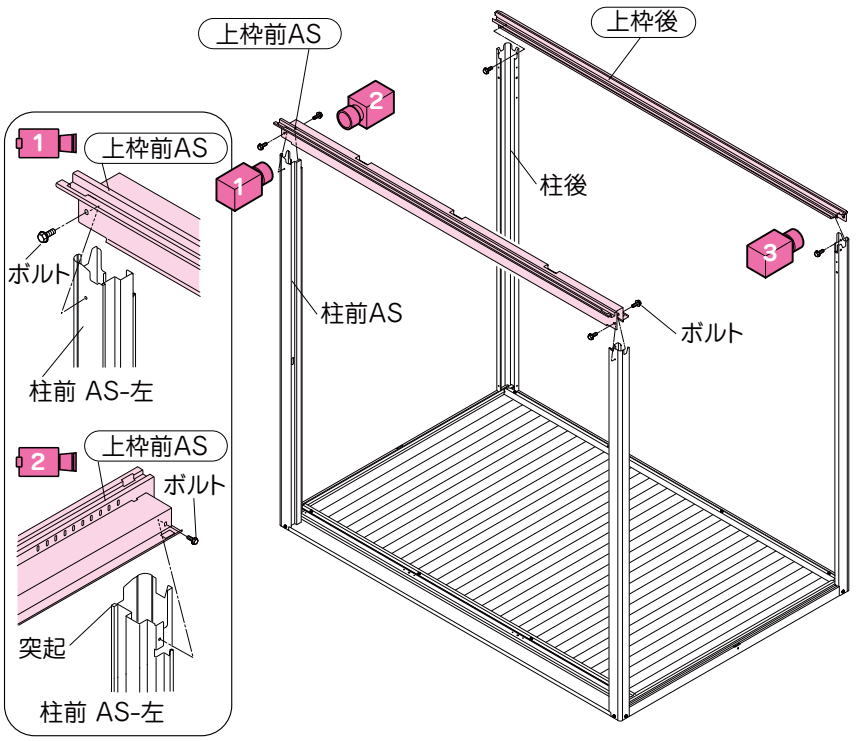
⚠注意
柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

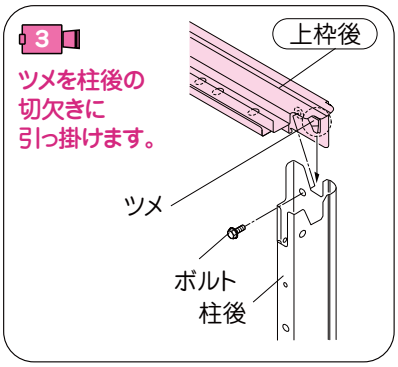


6 上枠前後の組立

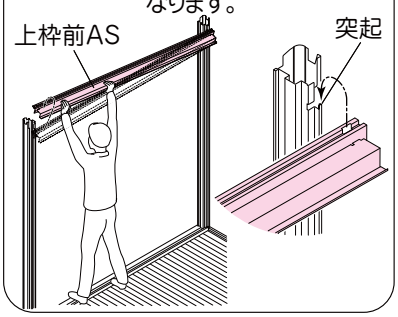
使用梱包	共通	LM5-0205
使用ボルト	6本	

①上枠前ASを柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
②上枠後のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。





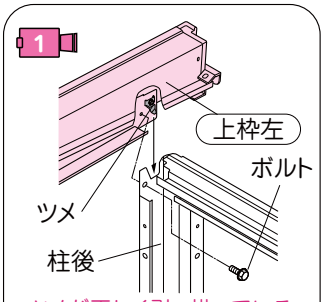
ワンポイント
上枠前は図のように柱前の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。



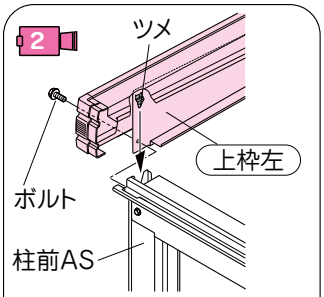
7 上枠左右の組立

使用梱包	奥行き11	LM5-0302
	奥行き15	LM5-0303
使用ボルト	4本	

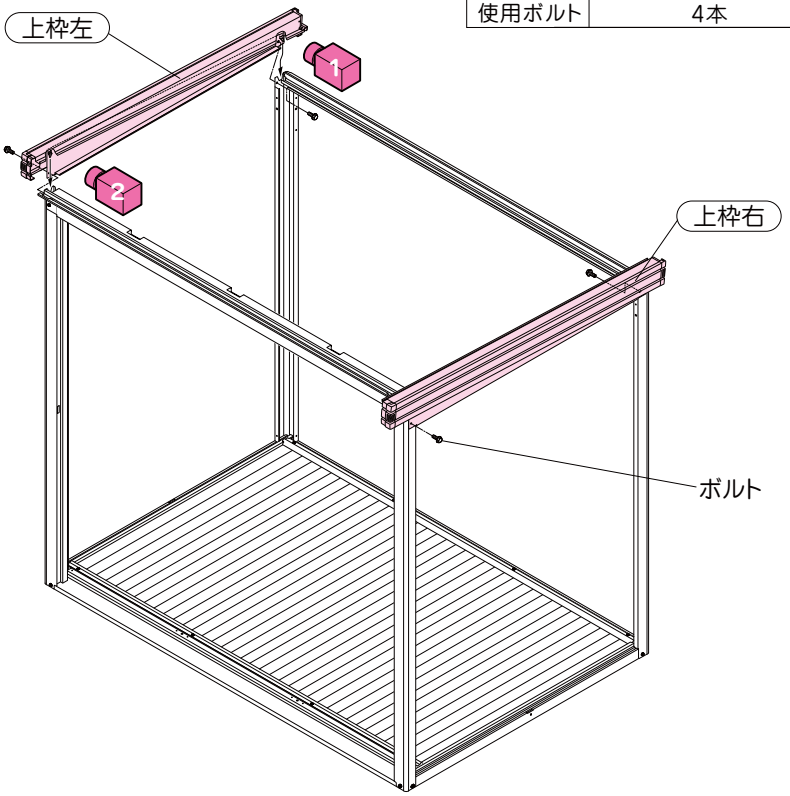
①上枠左・上枠右を柱に取付けます。



ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。



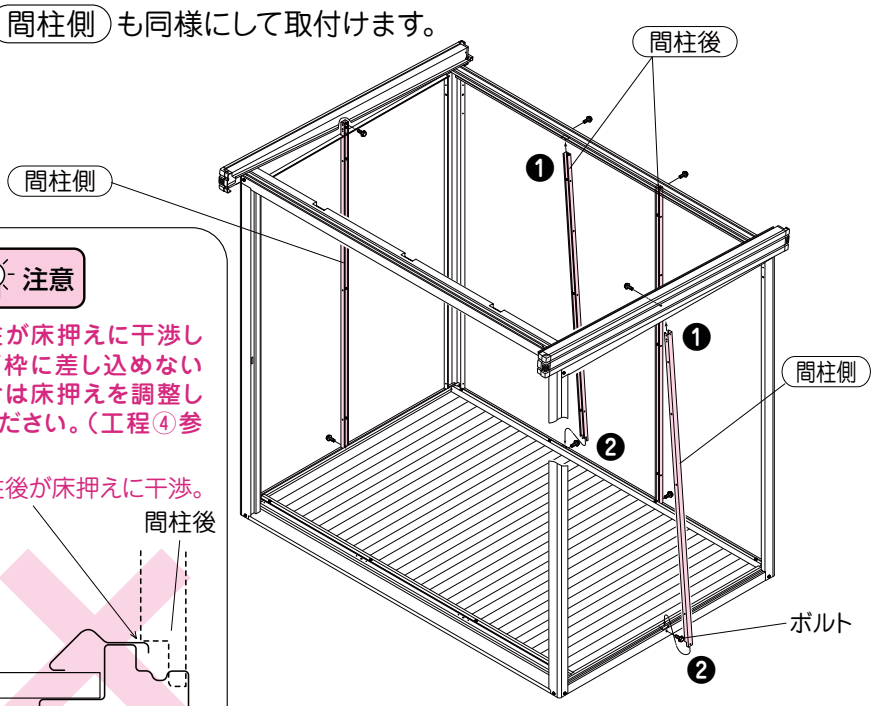
ツメが正しく引っ掛っていることを確認してからボルトで固定してください。



8 間柱側・後の組立

使用梱包	2211	LM5-1467
	2211H	LM5-1471
	2215	LM5-1468
	2215H	LM5-1472
使用ボルト	8本	

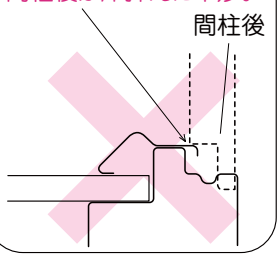
①間柱後の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
②間柱側も同様にして取付けます。

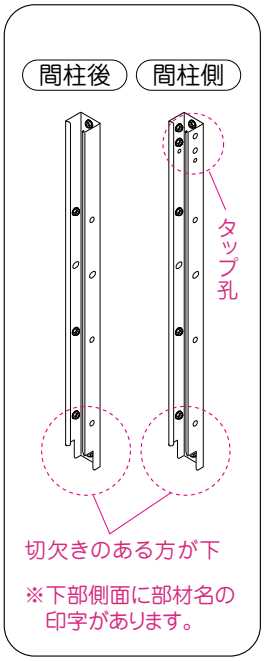


注意

間柱が床押えに干渉して下枠に差し込めない場合は床押えを調整してください。(工程④参照)

間柱後が床押えに干渉。





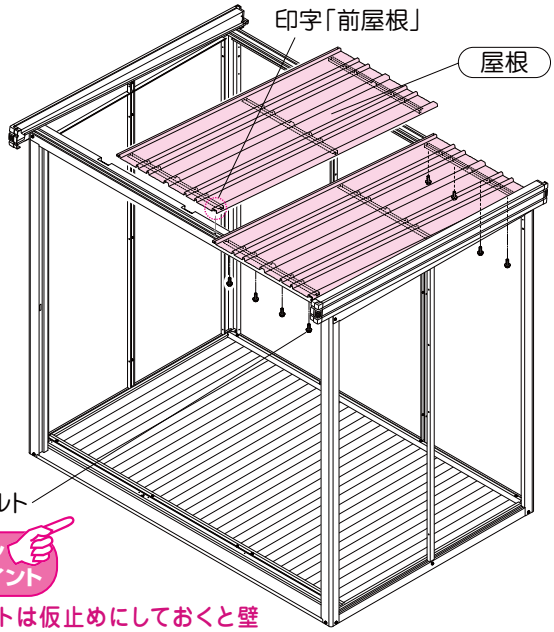
※下部側面に部材名の印字があります。

9 屋根の組立

使用梱包	奥行き11	LM5-0913
	奥行き15	LM5-0924
使用ボルト	24本	

①屋根を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。

※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。

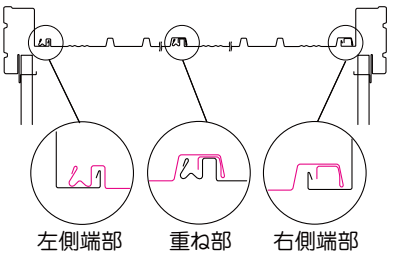


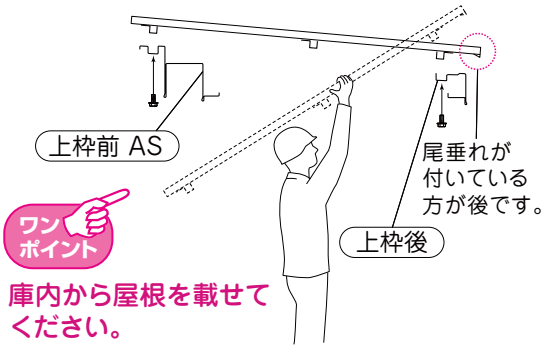
ワンポイント

ボルトは仮止めにしておくと壁パネル（工程⑬）が入り易くなります。仮止めした場合は壁パネル取付け後（工程⑬）に本締めしてください。

⚠注意

屋根は正しく重ねてください。正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。また漏水の原因にもなります。





ワンポイント

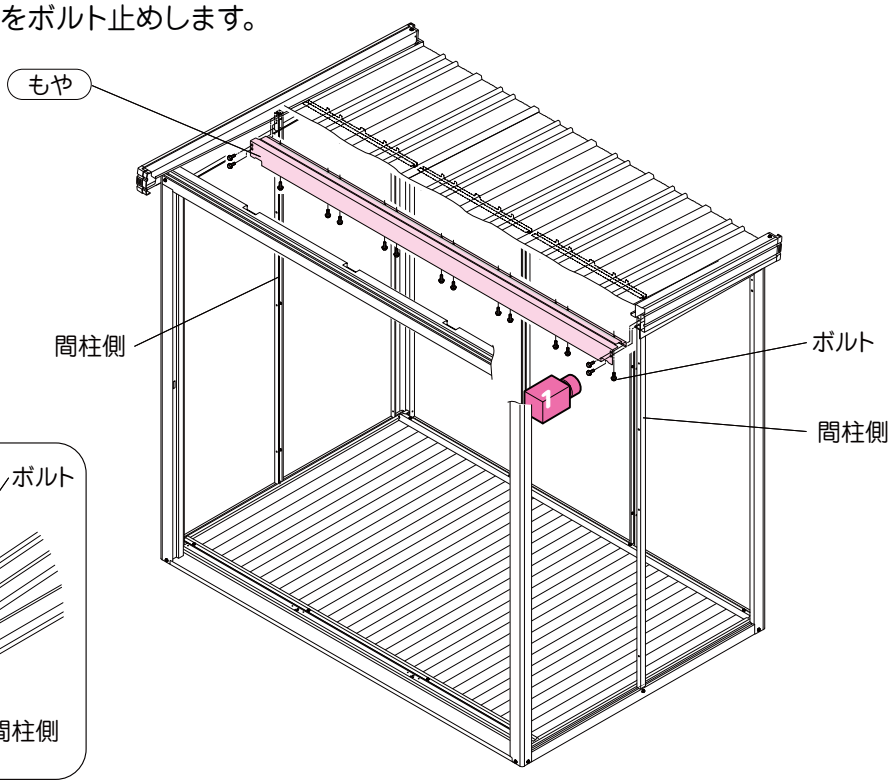
庫内から屋根を載せてください。

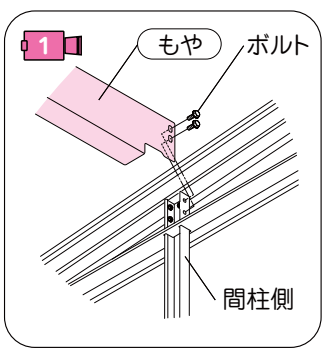
10 もやの組立

使用梱包	一般型	LM5-0531
	積雪型	LM5-3531
使用ボルト	16本	

①もやを正面から間柱側に載せてボルト止めします。

②もやと屋根をボルト止めします。



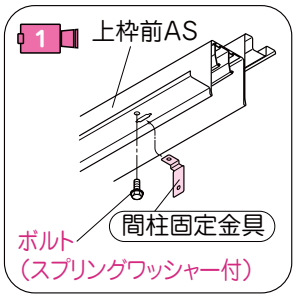


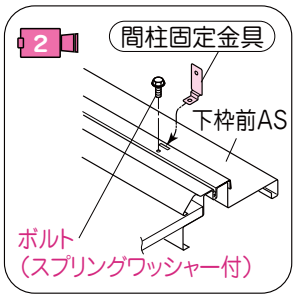
11 間柱前の組立

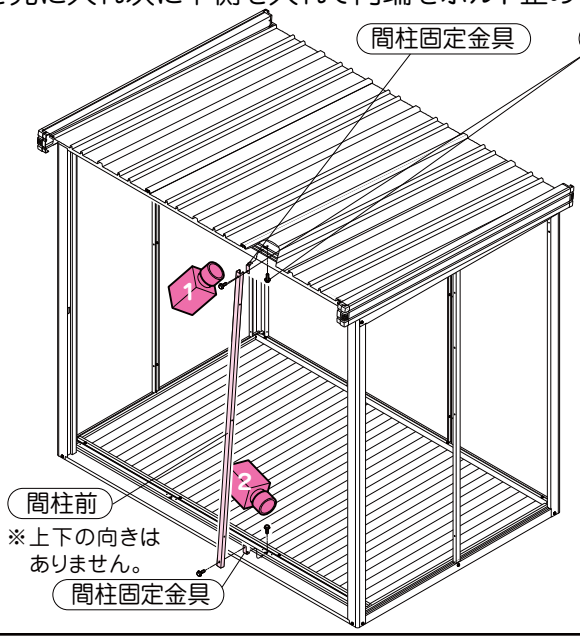
使用梱包	共通	LM5-0142
	2211	LM5-1467
	2211H	LM5-1471
	2215	LM5-1468
	2215H	LM5-1472
使用ボルト	ボルト（スプリングワッシャー付）4本	

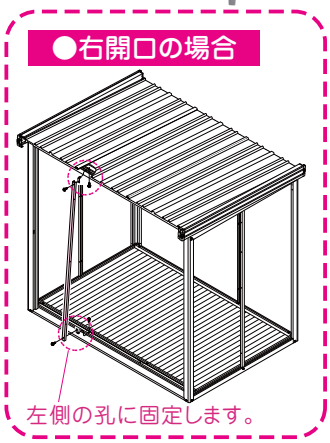
注意
工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書⑪⑫⑭⑯⑰⑲を読んでください。

①（間柱固定金具）を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。
②（間柱前）の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。





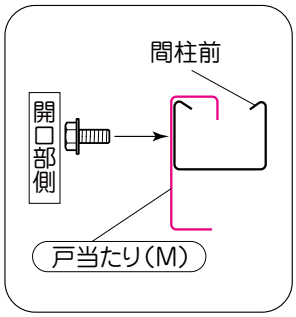


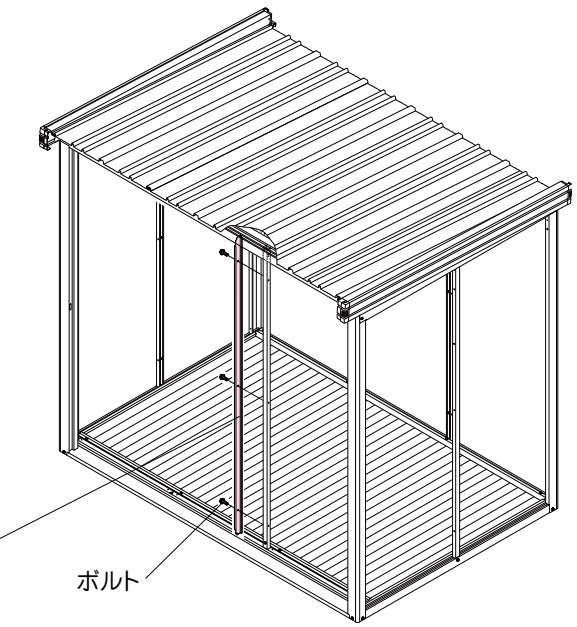


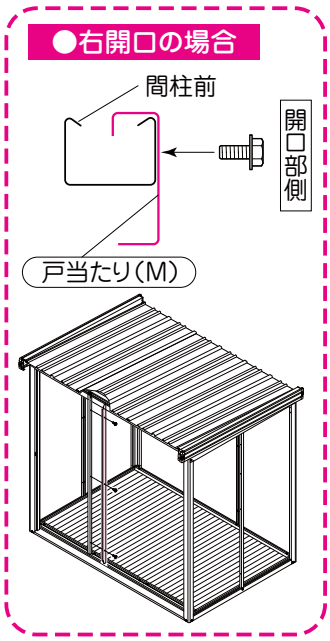
12 戸当たり（M）の取付け

使用梱包	Lタイプ	LM5-0411
	Hタイプ	LM5-0412
使用ボルト	3本	

①（戸当たり（M））を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。－工程⑰参照





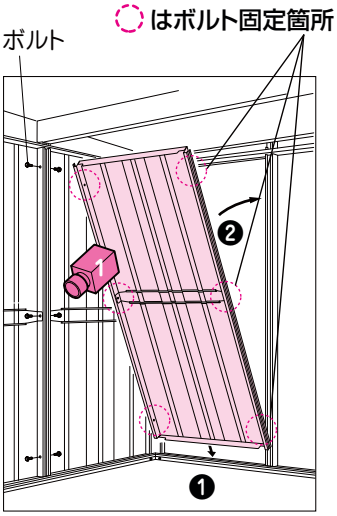


13 壁パネル・袖壁の取付け

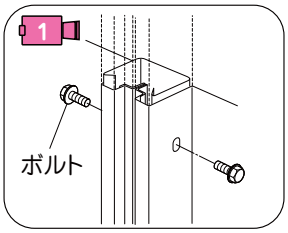
使用梱包	2211	LM5-1001	LM5-1004	LM5-1022	LM5-1055
	2211H	LM5-1011	LM5-1014	LM5-1032	LM5-1065
	2215	LM5-1003	LM5-1004	LM5-1055	
	2215H	LM5-1013	LM5-1014	LM5-1065	
使用ボルト	47本				

①室内から（壁パネル）・（袖壁パネル）をはめ込みます。（下を先に入れて上をはめ込みます。）
②柱・間柱にボルト止めします。（開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。ー工程⑭参照）

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。

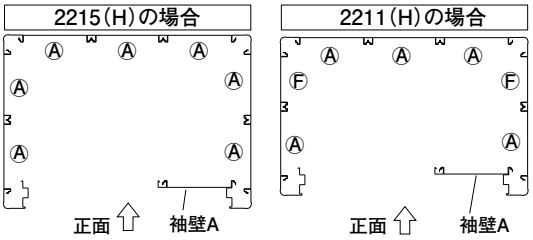


ワンポイント
ボルト固定孔が合いにくい場合は屋根の固定ボルトを緩めると合わせやすくなります。

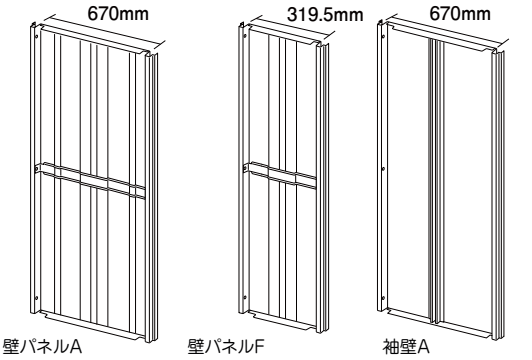


注意 壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の立ちを確認してください。

壁パネルの取付位置



壁パネルの種類

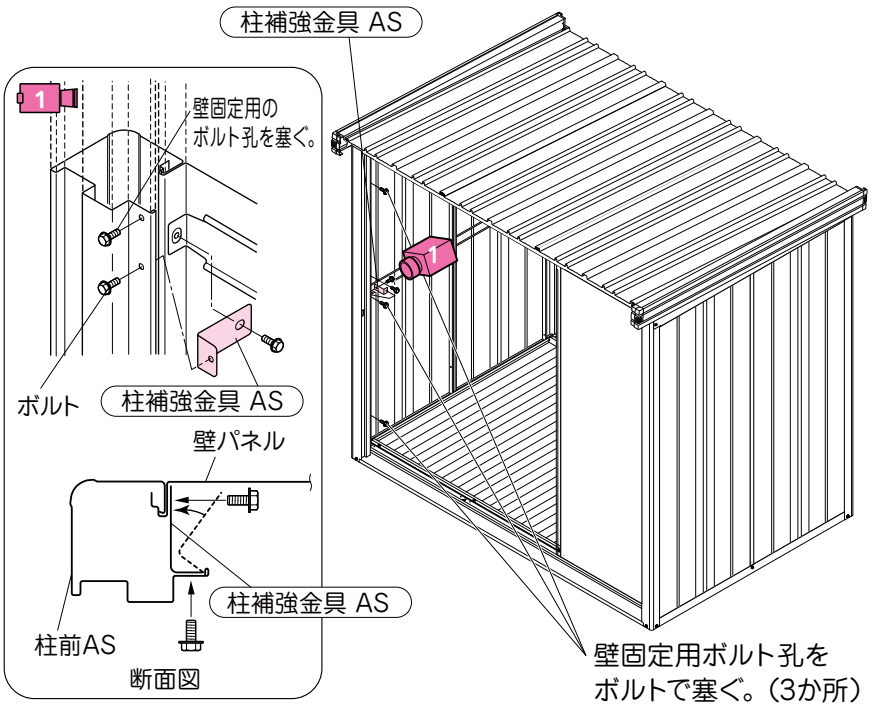


※壁パネル、袖壁共に上下の区別はありません。

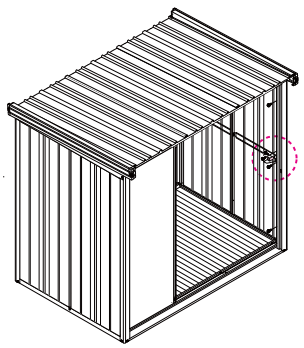
14 柱補強金具の取付け

使用梱包	共通	LM5-0142
使用ボルト	5本	

①（柱補強金具AS）を柱前AS-左（右側開口の場合は柱前AS－右）にボルト止めします。
②壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。



●右開口の場合

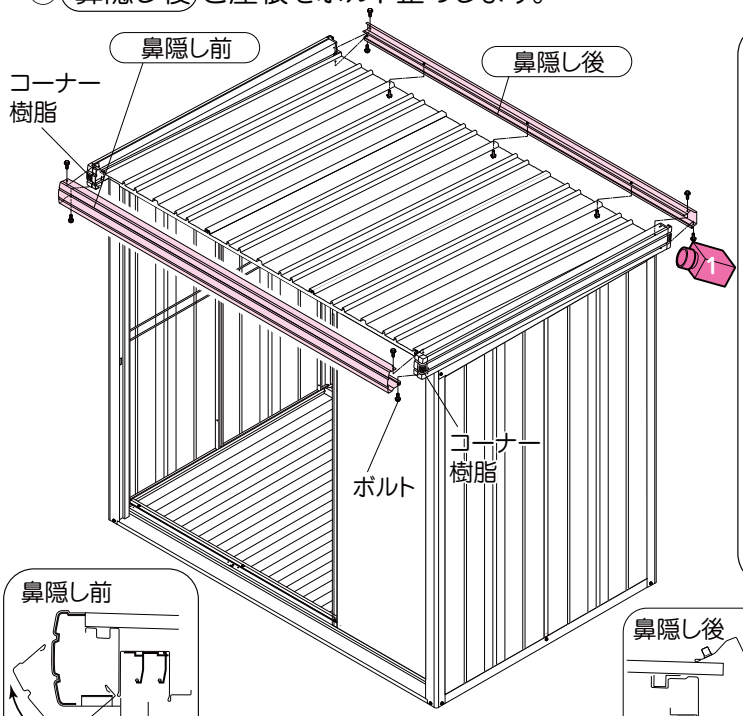


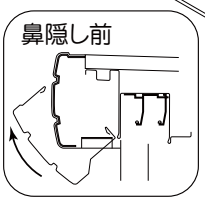
※柱前AS－右に取り付けます。

15 鼻隠しの取付け

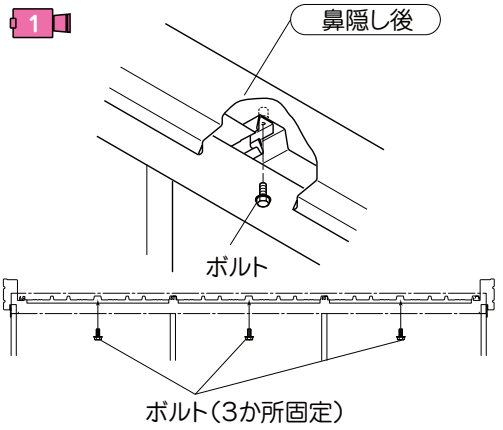
使用梱包	共通	LM5-1105
使用ボルト	11本	

①鼻隠し前・鼻隠し後を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
②鼻隠し後と屋根をボルト止めします。





鼻隠し後と屋根の固定



壁パネルの中央付近の山が固定位置です。

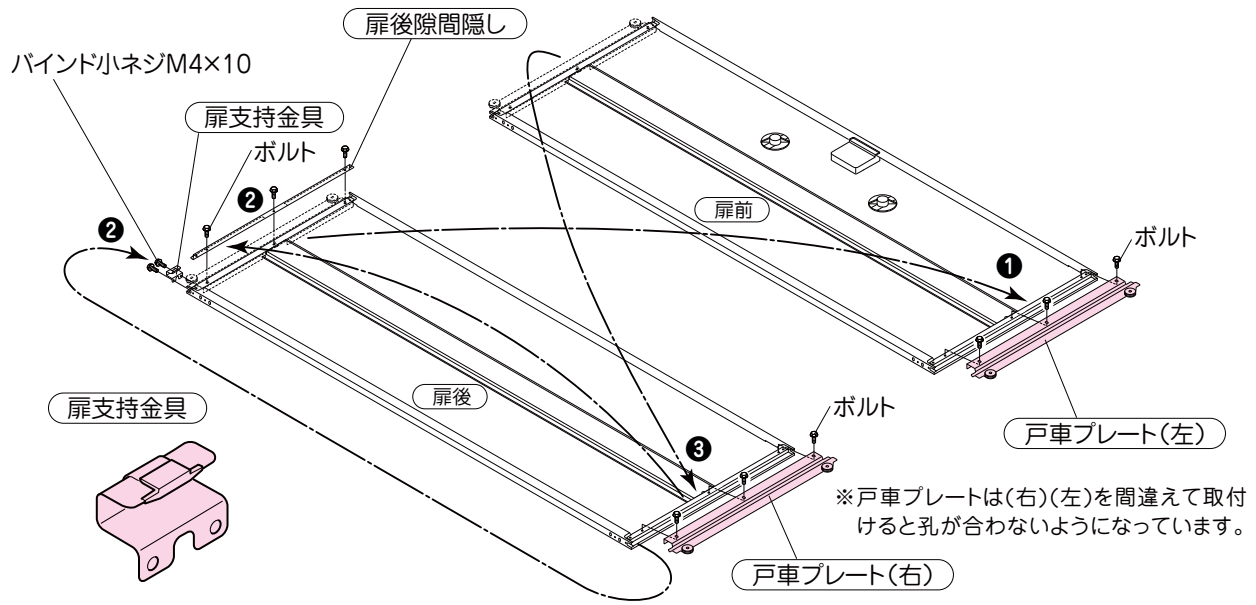
注意 トイ(オプション)を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

16 扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

注意 右側開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。
左開口の場合はこの工程は必要ありません。

使用梱包	Lタイプ	LM5-1705
	Hタイプ	LM5-1715
使用ボルト	0本	

①扉後から戸車プレート(左)を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
②扉後の扉後隙間隠し 扉支持金具を取り外して扉後の反対側に取付けます。
③扉前の最初に付いていた戸車プレート(右)を取り外して扉後に取付けます。



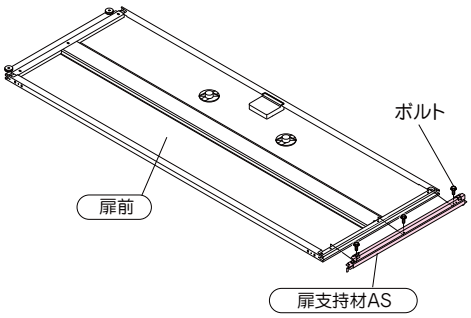
※戸車プレートは(右)(左)を間違えて取付けると孔が合わないようになっています。

17 扉の吊り込み

注意 扉を吊り込む際は下枠前ASの上面に砂埃が無いことを確認してください。

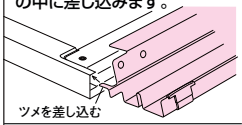
使用梱包	Lタイプ	LM5-1705
	Hタイプ	LM5-1715
使用ボルト	3本	

①扉支持材AS を 扉前 に取り付けます。

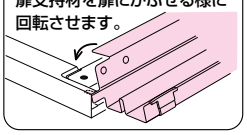


扉支持材(AS)の取付け方

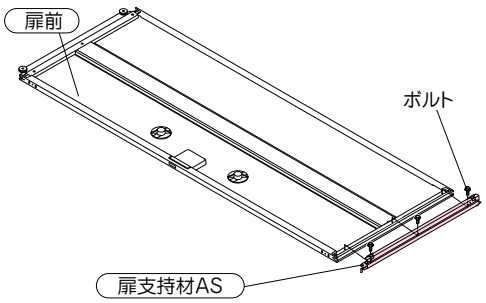
ツメを扉の長手方向折曲げ部の中に差し込みます。



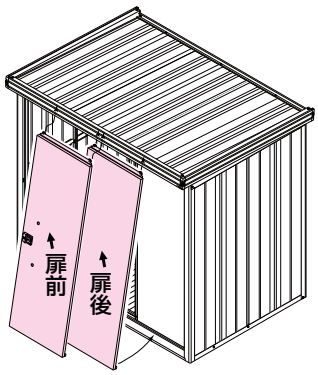
扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。



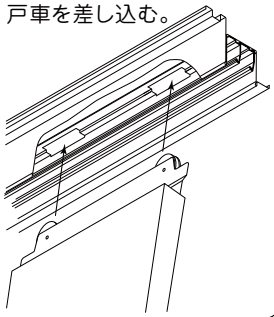
●右開口の場合



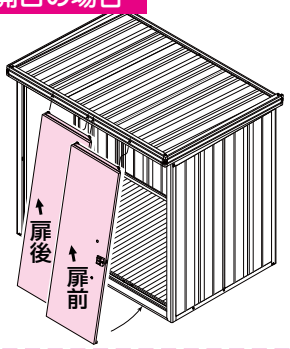
②扉後・扉前 の順番で吊り込みます。



※上レールの角孔に戸車を差し込む。

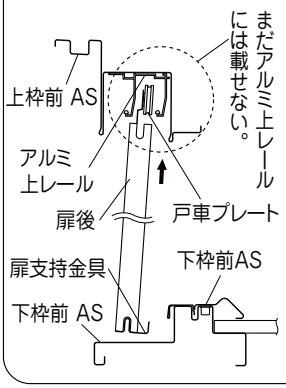


●右開口の場合

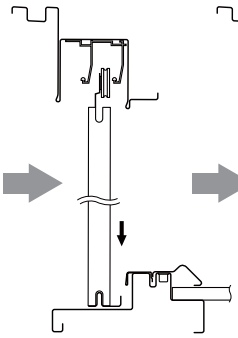


扉の吊り込み手順

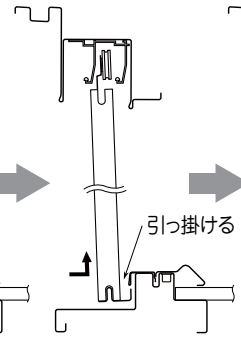
①扉後の戸車プレートを角孔に差し込む。



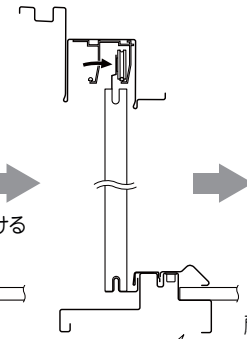
②アルミレールに載せずに下に落とす。



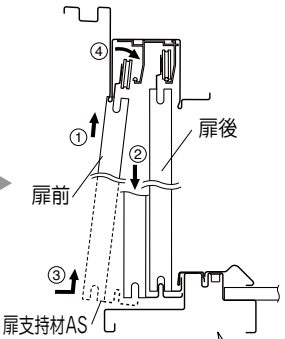
③下部を奥に押し当てる。



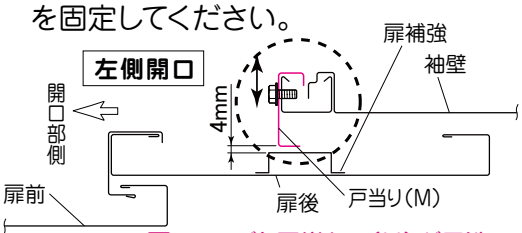
④扉後を持ち上げ戸車プレートをアルミレールに載せる。



⑤扉前も同様に吊り込む。

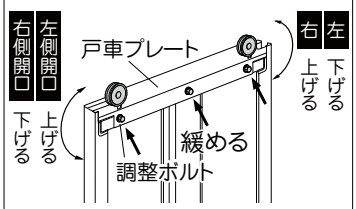


③戸当たり(M) と扉補強の隙間が4㎜程度になる位置で 戸当たり(M) を固定してください。

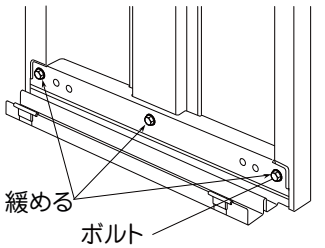


ワンポイント 扉フランジと戸当たり(M)が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり(M)を少し屋外側にずらして固定してください。

扉後が吊り込みにくい場合は、
一度戸車プレートを緩め、扉支持金具がついている側を上げ、反対側を下げてボルトを締め、吊り込んでください。



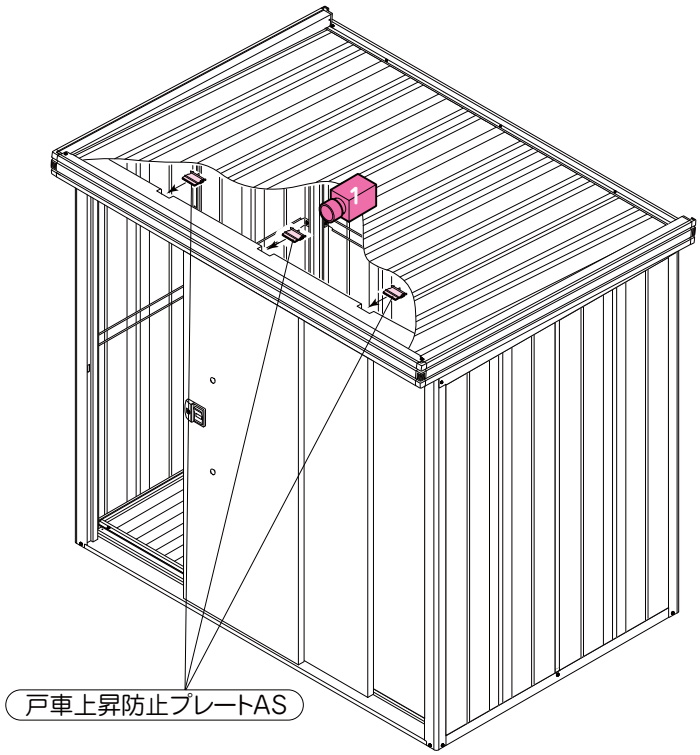
扉前が吊り込みにくい場合は、
扉支持材のボルト(3か所)を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

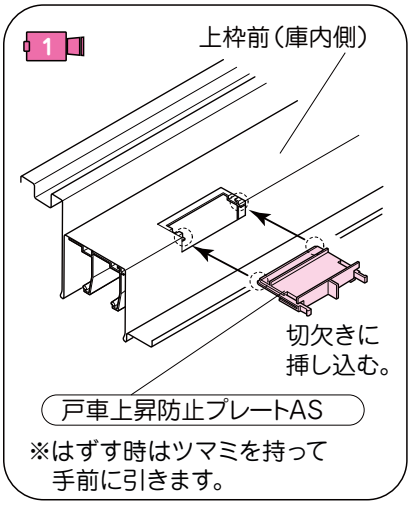


18 戸車上昇防止プレートの取付け

使用梱包	Lタイプ	LM5-1705
	Hタイプ	LM5-1715
使用ボルト	0本	

①（戸車上昇防止プレートAS）を上枠前ASに取付けます。（3か所）





※はずす時はツマミを持って
手前に引きます。

注意 **戸車上昇防止プレートASは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを取外してください。**

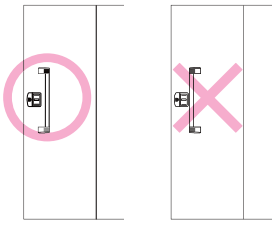
19 取手の取付け

使用梱包	Lタイプ	LM5-1705
	Hタイプ	LM5-1715
使用ボルト	0本	

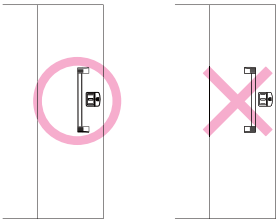
①（取手）を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
②扉裏の（取手取付け材）を回して取手を固定します。

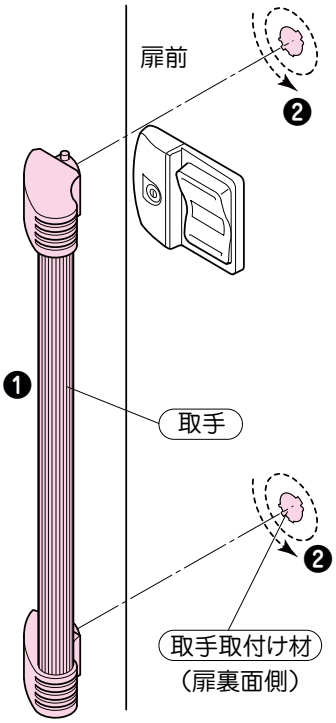
注意 **取手を取付ける向きに注意してください。**
※逆向きには取付かないようになっています。

左開口の場合

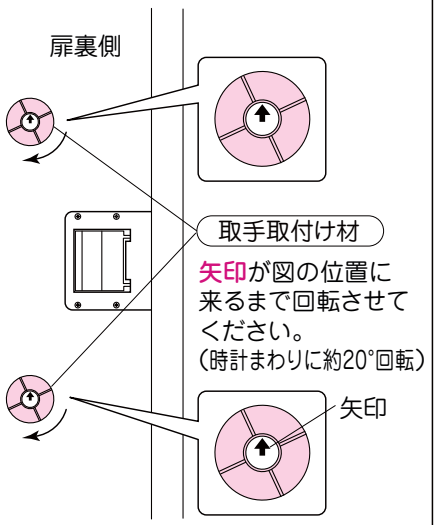


右開口の場合





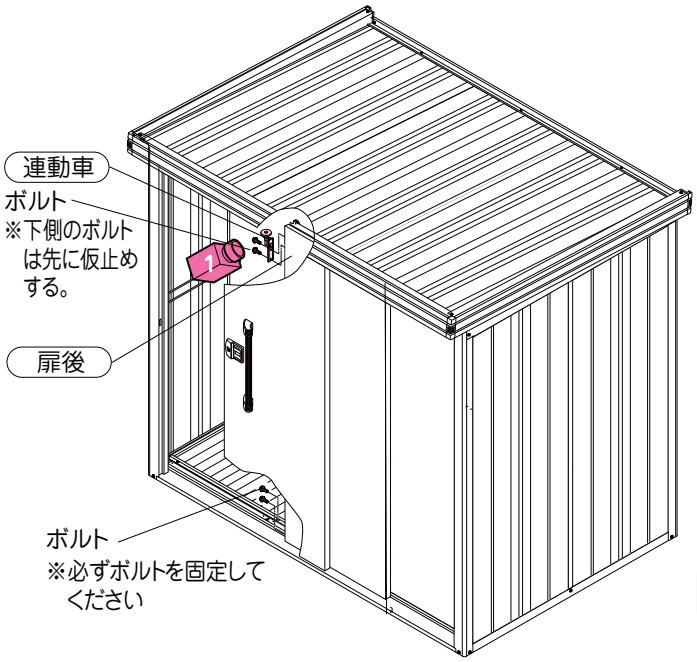
②取手の固定

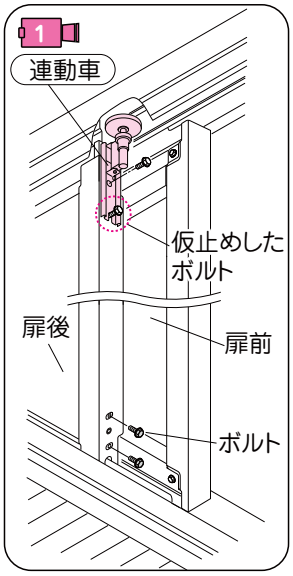


20 連動車の取付け

使用梱包	Lタイプ	LM5-1705
	Hタイプ	LM5-1715
使用ボルト	4本	

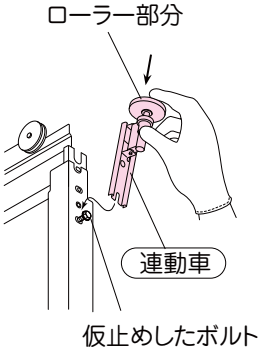
①扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。
（ネジ部を5㎜程度残してください）
②連動車のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。
③連動車をボルトで固定します。（仮止めしたボルトも締め込んでください。）
④扉後下部のボルト孔を塞ぎます。





ワンポイント

ローラー部分を押し下げると取付けし易くなります。

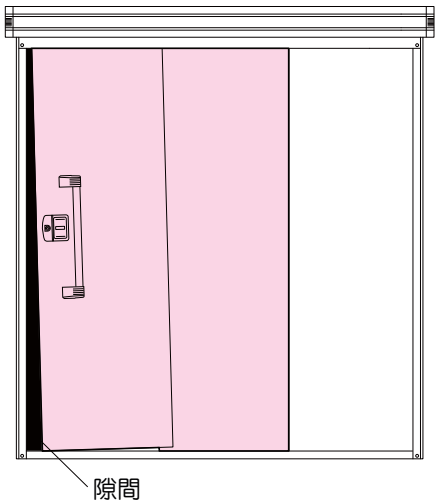


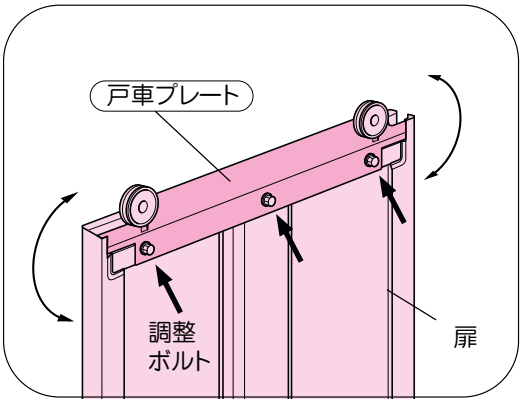
注意 連動車には絶対に注油しないでください。連動しなくなります。

21 扉の建付け調整

①扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。

隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、
戸車を固定しているボルト（調整ボルト）をゆるめて調整します。





ワンポイント

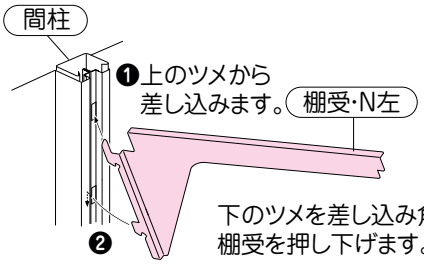
ボルトをゆるめて庫内から扉を閉めて扉が柱に沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

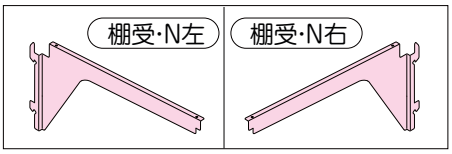
注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の立ちを直してください。

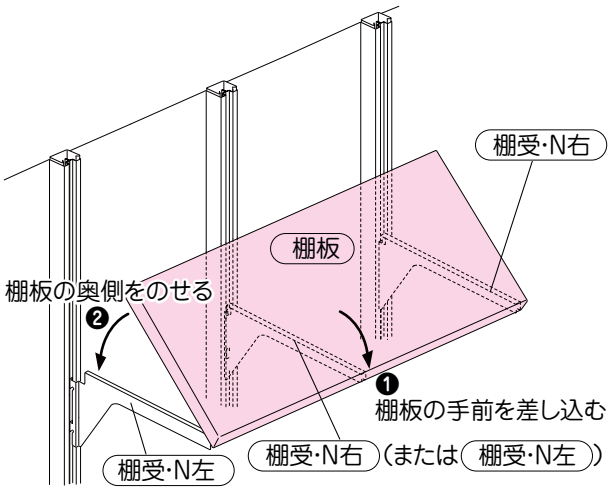
22 棚板の取付け

使用梱包	共通	LM5-1903
使用ボルト	0本	

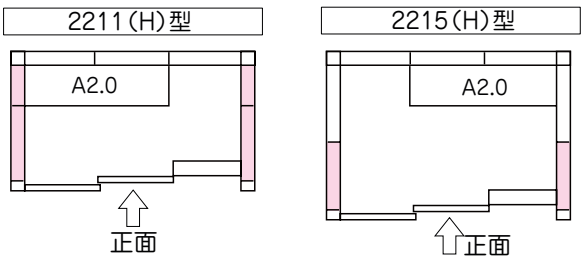
①棚受を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
②棚板を棚受の先端に差し込んでから取付けます。（標準で棚板A2.0が2枚付いています。）







棚板取付け例

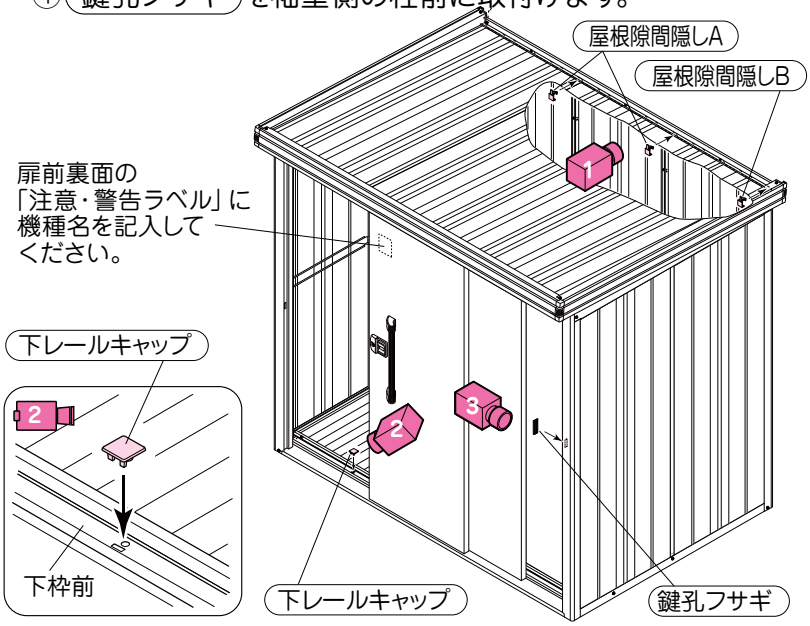


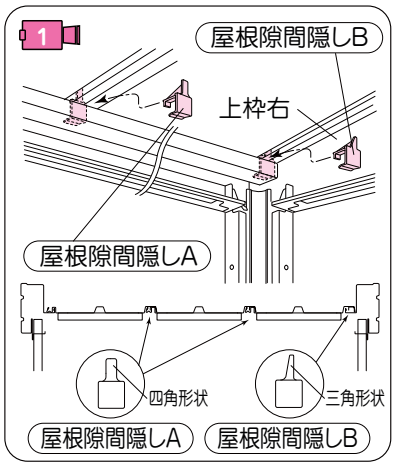
注意 の壁パネルには棚受は取付けできません。

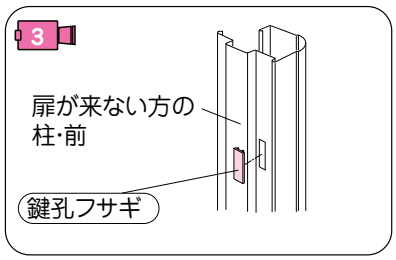
23 その他部品の取付け

使用梱包	共通	LM5-0142
使用ボルト	0本	

①扉裏面の注意･警告ラベルに〝機種名〟を記入します。
②屋根隙間隠しAを上枠後の屋根の重ね部に、屋根隙間隠しBを上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。
③下レールキャップを下枠前に取付けます。
④鍵孔フサギを袖壁側の柱前に取付けます。

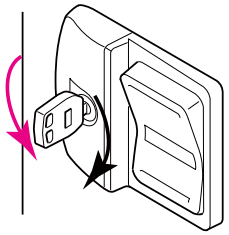






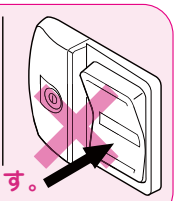
◆錠操作方法について

●施錠する方法

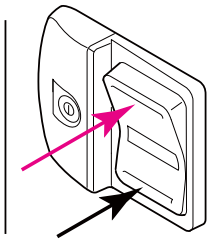


施錠：鍵を差し込んで反時計回りに
180° 回します。
解錠：鍵を差し込んで時計回りに
180° 回します。
※右側開口でも動作は同じです。

⚠注意
**本ロックした状態で
ボタンを強く押し込
まないでください。
錠の破損に繋がります。**

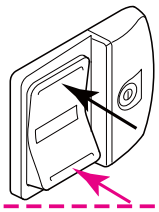


●仮ロックする方法



仮ロック：ボタンの上側を
押し込みます。
解錠：ボタンの下側を
押し込みます。

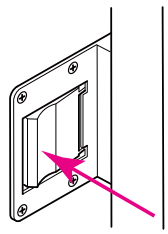
●右開口の場合



解錠：ボタンの上側を
押し込みます。
施錠：ボタンの下側を
押し込みます。

●庫内からの解錠方法

施錠時、仮ロック時どちらの場合でも庫内から解錠できます。
（庫内からの施錠、仮ロックはできません。）



庫内側のレバーを押し込みます。
※施錠した状態で内部から解錠した場合、
次に施錠する際には鍵を一旦時計回りに
180° 戻す必要があります。

⚠注意
**使用しない時は中に人がはいらない
よう必ず施錠してください。
施錠、仮ロックする場合は庫内に人が
いないことを十分確認してください。**

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

チェック欄

①扉の建て付け調整ができているかご確認ください。 ☐
②鍵が正常に作動するかご確認ください。 ☐
③戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。 ☐
④棚板の配置確認をしてください。 ☐
⑤機種名が記入されたか確認してください。（扉裏面の注意・警告ラベル） ☐

○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS,連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程⑰⑱⑳)
・扉がスムーズに連動しない。	1.本体の建ちを確認してください。 2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。（工程⑲）
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり（M)を調整してください。（工程⑰）

この組立説明書は
エコマーク認定の
再生紙を使用して
います

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(2211(H)・2215(H))
ヨドコウ
淀川製鋼
(2014年A制作)